1. **ツールの選択と準備**

圧縮には専用のツールがあり、まずその選択が必要です。第1章では代表的なツールの紹介と選択のポイント、圧縮に必要な用語の解説と準備について解説しています。

1-1　圧縮と解凍とは何か

1-2　圧縮解凍ツールの一覧の選択のポイント

1-3　圧縮の形式

1-4　DLL、その他必要な用語

1-5　拡張子が見えるように準備する

* 1. **圧縮と解凍とは何か**

圧縮とは何でしょうか。何のために行うのでしょうか。ツールの紹介や具体的な操作の前に圧縮自体について理解しましょう。

■圧縮ってなに？

「ファイルを圧縮してメールしましたから」とか「これからは圧縮していただけますか」などといわれてとまどったことはありませんか。また、いきなり圧縮したデータをもらって（その段階では圧縮ファイルとわかっていなくても）、開けないと途方にくれたことはありませんか？

メール交換が広く行われるようになり、「圧縮」という言葉をよく聞くようになりました。この「圧縮」とはいったい何でしょうか。

圧縮とは、文字通り大きな容量のファイルをコンパクトにまとめることです。

たとえば、手荷物を航空便で運ぶ場合を想定してみましょう。漠然と荷物をまとめたら、4個になりました。1個3000円で、4個なら1万2000円です。これはけっこうな金額です。ところが、不思議な「圧縮トランク」があって、4個分の荷物が1個に収めることができたら3000円で済むことになります。これは便利ですね。この圧縮トランクの働きが「圧縮」なのです。

（荷物をまとめているイラスト）　　　　　　（手荷物カウンター　1万2000円に驚く）

漠然と荷物をまとめたら4個になった　　→　　1個3000円で4個なら1万2000円

↓

（圧縮トランクに荷物を移し替え）　　　　（「1個3000円でOK」安心する持ち主）

圧縮トランクに荷物を移し替えたら……　　→　　1個3000円でOK